

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
16102002	歴史学的視角から分析する東アジアの都市問題と環境問題	妹尾 達彦（中央大学・文学部・教授）	A
<p>本研究は、所期の研究成果を実現したと評価される。</p> <p>生態学的な歴史観に基づき、従来のような地域史の寄せ集めではない世界史の構築を目指して、環境問題と都市問題を手がかりに、文献資料と現地調査を融合し、多国籍の研究者による共同研究を進めていく研究手法は、多くの研究成果を上げた。環境と東アジア都市がもっている歴史的性質との関わりを、研究諸分野を融合して分析することで解明し、今後の研究基盤造成の役割も果たしている。</p> <p>一方で、従来の都市史研究・都城史研究にとどまっているものも少なくなく、都市問題と環境問題が並列的に論じられている感がある。中間評価で指摘された「概論的、表層的に流れる傾向」についても、必ずしも克服されたとは言い難い。また、歴史上の都市分析が中心であり、研究目的に掲げられた現代の都市問題・環境問題に対する提言については十分なレベルに達しているとは言えない。今回得られた研究成果を基盤として、自然科学や社会学など幅広い分野の研究者と共同研究を行うことで、さらに大きな研究的貢献がなされることを期待したい。</p> <p>以上のように、残された課題はあるが、今後の「都市・環境」研究にとって本研究の成果は十分な基盤となるものである。</p>			